

三中だより

令和7年度 9月号



令和7年9月2日発行
荒川区立第三中学校
(学校通信 R7 No. 3)
校長 下斗米 八穂

二学期が始まりました。

二日目の今日は、授業と給食が始まりました。

家庭の時間から、学校のリズムへと少しずつ生活が移行しています。

少しずつ、少しずつ。急ぐことなく、そしてもしも自分を見失っても焦らずに。

生徒には、独りで抱えず、そして自分を大切にしてお過ごせるように伝えていきます。

保護者の皆さま、地域の皆さまには、二学期もご協力のほどをよろしくお願いいたします。

9月1日の始業式にて、生徒に送ったメッセージを掲載します。
共有していただけますと幸いです。

新しい朝

皆さんと今日の始業式の朝にこうして体育館に集まることができて、本当によかった、と私は思っています。

荒川区立第三中学校、二学期のスタートです。

43日間の家庭の時間を過ごして、またこうして集まる事が出来ました。

夏休み中の学校は、主事さんがワックスをかけてくださって、廊下がピカピカになりました。クーラーの修理もありました。部活動やボランティア活動に一生懸命な姿を毎日見ることができました。入れなかったプールも、二学期の授業準備が整いました。テニス部の皆さんが暑い中で掃除をして、きれいにしてくださったと聞いています。ありがとうございました。

皆さんも、部活動や勉強の質問などで学校と関わる時間はあったこととは思いますが、ほとんどの日を学校の生活リズムから離れて、自分や家庭の時間として過ごしてきたものと思います。

私は「自分の時間」を大切にすることが夏休みや冬休みの長期のお休みの期間で、もっとも意味のあることだと思っています。

自分で考えて、自分のことを考えて過ごす時間、皆さんはどれだけ自分の時間をとることができたでしょうか。

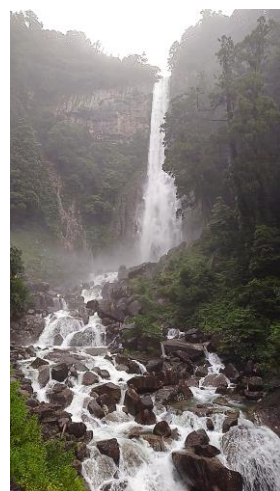
もちろん、将来社会に出て、社会のリズムの中で責任や役割を果たして生活することを思えば、学校のリズムを大切にすることも大切です。時間を守ること、周りの仲間感謝したりその中でできることに頑張ったりすることは、信頼の絆を太くしていきます。

しかし、その中でも自分の行動や判断の力をよりたくましく身につけていくには、結局は自分で一生懸命考えるしかありません。

ですから、日常でも流れに身を委ねてしまうばかりではなく、自分の時間を大切に、仲間の言葉をかみしめてみたり、自分の考えを整理したりする時間が、一人前の人間になるために、自分を鍛えるチャンスになるのだと思います。

大人になったように見える私も同じです。

私はこの夏、ずっと行きたかった和歌山県的那智の滝に行ってきました。那智の滝は、険しい山の中にある、本州で一番落差の大きな滝です。



ちょうど激しい雨が数日続いたせいで、水量が最大級の日に行くことができたようです。土砂降りの中、迫力ある夕暮れ時の滝を見上げて、しばらくいろいろなことを考えました。過去のこと、これからのことも考えました。やりたいことやひらめいた新しい目標みたいなことも浮かんできました。最後は、よし頑張ろう!なんて前向きな気持ちになるまで、少し長い間、水が滝つぼの岩を打ちつける低い地響きの中ですてきな時間を過ごすことが出来ました。これが私の、この夏、一番心地よかった体験です。

ただ、これほど特別な出来事ではなくても、いつも「考える」ことは大切だと、とても強く思います。

さて皆さん、43日間の夏休みには、43回の朝がありました。朝、目が覚めたとき、どのようなことを考えましたか?

もうちょっと寝ていたいな、という朝もあれば、スッキリ目覚める朝もあったかと思います。特別な予定に緊張感が高まる朝も、ちょっと憂鬱になる朝もあったことでしょう。

忙しい朝も、のんびりとまどろみを味わう朝もあったと思います。

いずれの朝も、誰のものでもない、自分の朝です。

特に夏休み中は、学校ではなく、自分や家庭の生活の朝でした。この、朝の気持ちを思い出すことこそ、夏休みの自分を振り返る場面の一つだと思います。

いかがですか? 43回全部とは言いませんが、幾つかの朝を思い出すことができますか?

朝はみんなにやってきます。

朝は、昨日までの出来事を全部過去にして、未来が始まる入口です。前の日から続いている出来事はあるかもしれませんが、それでも新しい一日のスタートです。

もしもよかったら、起きる前のひと時を、一日の自分の姿を考える時間にしてみるのはいかがでしょうか。少しの時間でいいから、いろいろ考えて、そして動き出す自分にエールを送ってから動き出すのもよいかと思います。

こうして始まるいろいろな一日を過ごして、日々は続いて行きます。

私の朝は、多少無理をしてでも、「よし頑張るぞ」と気持ちを入れて体を起こすようにしています。ときには、体が重く感じる日もありますが、独り言のように、「頑張るぞ」と声に出して乗り越えたりすることもあります。

なぜなら、朝を迎えることができるのは、幸せなことだと思おうようにしているからです。

夏休み最後の日だった昨日も、朝がありました。どんなことを考えましたか?

そして二学期最初の日を迎えた今朝は、いかがでしたか?

学校のリズムが再開します。自分のペースで徐々に着地してください。

もしも、こころがチクチクとするときには、いつでも、だれにでも、どんな小さなことでも結構です。相談をしてください。学校は、皆さんの力になります。

今日から、みんなで過ごす授業や休み時間、明日からの給食など、1人で過ごすときとは違う喜怒哀楽があることと思います。43日前とは一味違う、夏休み中の成長をお互いに探してみるのもよいと思います。

小学校の頃から何度も二学期はありました。でも、今日から始まる二学期は、また新しい二学期です。今、代表生徒の皆さんが学年それぞれで大切にしたいことをお話してくれました。一年生だって二年生だって三年生だって、それぞれの立場で迎える二学期は初めてのことです。新しいことに挑戦し、そして挑戦する仲間を支え、集団を大切にして、一人一人が輝きを見せる荒川三中の二学期をつくってください。

新しい朝を毎日迎えて、昨日とはちょっと違う自分を大切にして、二学期も過ごしていきましょう。

《 二学期始業式 各学年 生徒代表の言葉 》

一年生

私は一学期の反省を踏まえて、二学期では「声に出す」ということを意識して生活していきたいと思います。一学期では、自分の考えを人に伝えることができなくて、「みんなと違う考えだったらどうしよう」といつも、不安に思っていました。

でも、声に出すことで、自分の考えと相手の考えを比べて新しい考えを生み出すことができたり、声に出したりして初めて分かることがあると思います。他にも、友達に嫌なことをされたり、いじめられた時「やめて」「助けて」と声に出したりすることで、周りの人もその状況を理解でき、問題の解決にもつながります。これらを踏まえると、声に出すことで自分の気持ちや今の状況など、周りの人が見ているだけじゃわからないことがわかるようになったりします。

このことを意識して、学校生活を過ごしていきたいです。

そして、学年では自分のことだけでなく、周りの人のことも考えて行動していきたいと思います。一学期では、「自分たちが楽しければいい」という行動をしている人が多く見受けられました。ですが、周りの人も楽しく過ごすには、自分たちが本当にしているいいことなのかを考えて行動しなければなりません。自分で良くないことだと気付いたり、相手が良くないことをしていたら注意できたりするように、その先のことも考えて行動していきたいと思います。

二年生

夏休みが終わり、いよいよ二学期が始まります。二学期は、委員会などが前期から後期へと切り替わる、大切な時期です。後期が始まると、僕たちの学年が、学校を引っ張っていく立場になります。これまでは、三年生の背中を見て学び、支えてもらう存在がありましたが、これからは自分たちが中心となって、学校全体を引っ張っていく番です。その責任と自覚をしっかりとをもって、行動しなければいけません。

学校を引っ張っていくというのは、ただ目立つことではありません。日々の学校生活を丁寧に過ごし、授業、行事、委員会、部活動など、あらゆる場面で見本となる行動ができることが大切です。時間を守る、ルールを守る、挨拶をする、仲間を思いやるなど、そうした当たり前のことを当たり前に行き続けられることが信頼につながります。

また、行事などに対しても、自分たちが成功させるんだという意識をもって取り組んでいきましょう。三年生や一年生、先生方の意見にも耳を傾けながら全体をまとめ、よりよい方向へ導いていく姿勢が求められます。失敗を恐れず、自分の意見を発信する勇気ももちましょ。

この二学期を通して、一人一人が自分の役割を自覚し、学年全体として団結しながら、学校をよりよい方向へ引っ張っていける存在をめざしましょう。

三年生

夏休みが終わり、二学期が始まります。今年の冬に受験を控えている僕たち三年生にとって、この二学期はとても大切な時期です。これからのテストは、自分たちが受験する高校を決める大事なテストです。それに伴って進路の決断をしなければならないのが二学期です。

テストだけではなく、仲間との残りの生活も大切にしたいと思っています。

ずっと一緒に過ごしてきた仲間。これからも受験に向かっていく僕たちにとって、ずっとそばで一緒に頑張っている仲間は、とても大きな存在になると思います。

全学年が団結する最後の行事、輝汐祭もあります。

全生徒で創りあげるものだと思います。まずは最高学年の僕たちが全校を引っ張り、後輩たちのお手本になれるように頑張り、最高の思い出にしたいと思います。

後悔しないように、一日一日を大切にしていきたいです。



《 夏休み中の 活動の成果 》

《東京都中学校吹奏楽連盟》

◆吹奏楽部

東京都中学生吹奏楽コンクール
銀 賞

（始業式にて表彰した分を紹介しています。
他にも、本校生徒の活躍の成果を聞いています。
次号以降も引き続きお知らせします。）

《 二学期の主な予定 》

9月 勤労留学（2）

中間考査

連合体育大会

生徒会役員選挙

立会演説会・投開票

道徳授業地区公開講座

11月 開校記念日

面接講座（3）

期末考査

校外学習（三）

オープンスクール

スピーキングテスト（3）

学年弁論大会（1）

（日時などの詳細は、
追ってスクリーンなどでご連絡いたします。）

◇ お詫び と 訂正 ◇

前号にて、保護者の皆さまへ配信した
学校だよりの当欄に、誤表記がありました。
ご迷惑をおかけしました。申し訳ございません。
お詫びして、訂正をさせていただきます。

《東京都中学校体育連盟》

◆硬式テニス部 （←誤：ソフトテニス）

東京都中学校テニス選手権大会出場
男子シングルス さん

《荒川区中学校体育連盟

バスケットボール部運営委員会》

◆バスケットボール部 夏季総合体育大会

優秀選手賞 さん （←誤：名字）

10月 下田移動教室（2）

進路説明会（3）

学年弁論大会（3）

連合陸上大会（三）

新入生保護者説明会

セーフティ教室

学校公開週間

区連合英語発表会

輝夕祭（舞台の部）

三者面談（3）

12月 三者面談（全）

学年弁論大会（2）

ゴミO運動（2）

保護者会

終業式

《 お知らせ 》

（1） 引渡し訓練にご協力をいただきありがとうございました。

引渡し訓練にご協力をいただき、ありがとうございました。

発災の場合は、荒川区震度5強の際には、ご来校をお願いすることになります。

どうぞよろしくお願いいたします。

（2） 教育活動のご紹介

6月中頃から、令和7年度学校ホームページの運用を開始しました。

徐々に掲載記事や情報を追加しております。是非ご覧ください。



（3） 新学期が始まって、お子さんの様子がいかがですか？

長期休業明けは、子どもたちの変化を特に見守る必要があるタイミングです。

悩みごとや困ったことを胸に抱いている様子や、いつもとは異なる様子のお子さんの姿に気付いたときは、迷わずに学校や各所相談窓口へお声かけください。重大な危険行為にいたらぬよう、ご家庭や地域、教職員の連携によって、子どもたちを支援してまいりましょう。

学校では、担任や学年などの教員のほかに、定期的にスクールカウンセラーも配置して対応を整えてえています。誰にでも、どんなに小さなことでも結構です。どうぞお声かけください。

※ 文科省「子供のSOSの相談窓口」 https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/06112210.htm

